

温州ミカンの隔年結果に対する農家の意識と対応

[研究のねらい]

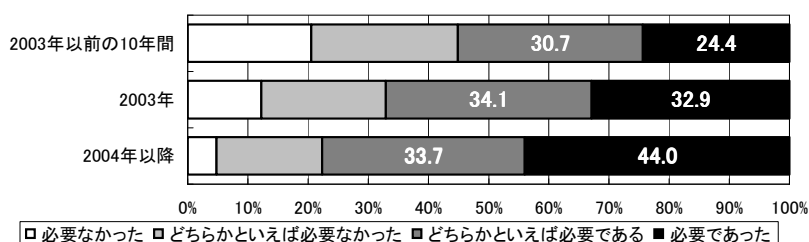
温州ミカン作農家では、隔年結果により生産量・価格が大幅に年次変動し、これによる経営の不安定化と収益性の低下が大きな問題となっています。アンケート調査結果をもとに農家による隔年結果対策の取組、実施上の問題点等を明らかにします。

[研究の成果]

- ①温州ミカン作農家の隔年結果是正の必要性は高くなる傾向にあり、農家の経営方針は収穫量・出荷量、単価・品質ともに安定を目指しています(図1)。
- ②農家が考える隔年結果を助長する原因は、樹齢、摘果、干害、整枝・剪定等です(図2)。
- ③収量変動の少ない農家は、改植、摘果、灌水、風害対策などの実施率が高くなっていました(図3)。
- ④隔年結果是正対策を実施するうえでの問題点は、「手間が足りない」、「期待する販売金額が得られない」、「対策技術が難しい」、「単価の見通しがつかない」などです。これらを考慮した対策技術や施策の実施が必要です。

[成果の活用面・留意点]

- ①今後の隔年結果是正対策のための基礎的な情報として利用できます。



資料: アンケートは旧金屋町のミカン生産農家を対象に2004年7月に実施(配布数212、有効回答数201)しました。

図1 隔年結果是正の必要性

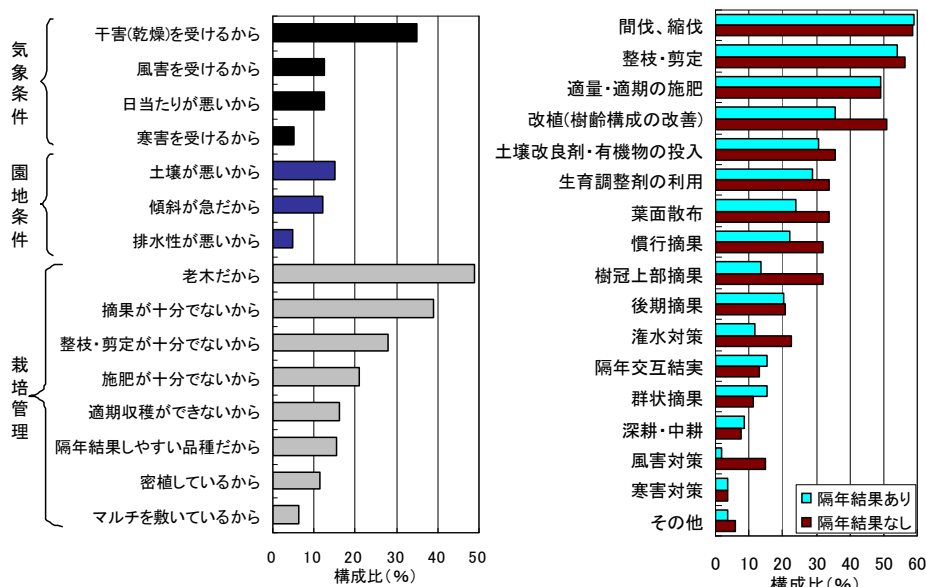


図2 農家が考える隔年結果の原因(複数回答)

図3 隔年結果の有無による対策実施状況の差異(複数回答)

実施期間：
平成15～17年度
担当者：

熊本昌平、辻和良